

深大寺

大修理完了記念 日本最大の肖像彫刻 元三大師像御開帳



東京都指定有形文化財である秘仏元三大師像の江戸時代以来の修理が美術院工房(奈良国立博物館内)で行われ、3年間の本格修理が完了したことを記念した特別開帳です。鎌倉時代の元寇に際して制作されたとも考えられており、本来50年に一度しか開帳されない秘仏の姿を間近で拝観できるまたとない機会です。

日 4月26日(土)～6月2日(月) 時 午前10時～午後4時 所 深大寺元三大師堂
費 1000円(拝観料) 図 深大寺 ☎042-486-5511 ※期間中、混雑が予想されますので、公共交通をご利用ください



深大寺HP

元三大師と呼ばれる良源

元三大師とは比叡山の高僧慈恵大師良源の通称です。比叡山中興の祖としてあがめられており、おみくじを考え出したことでも有名で、厄除け大師として広く知られています。

鎌倉時代から続く歴史的価値

像の制作は鎌倉時代にさかのぼり、坐像でありながら、像高約2メートルで、国内最大の肖像彫刻です。

鎌倉時代、日本はモンゴル帝国(元)のフビライにより2回の侵攻を受けました(元寇)。巨像制作の動機として、鎌倉幕府の意向があり、元寇降伏を願う呪詛のためだったのではないかと考えられています。

元寇の際、異国調伏の本尊として元三大師像を造る事例がみられる中、大きさ、作風とも他に類をみないうえ、源頼朝の弟範頼の子である範元が深大寺の僧であり、その弟源昭



奈良国立博物館での特別公開風景

と鎌倉末代将軍守邦親王の子息守恵が、今の住職にあたる深大寺別当だったことから、深大寺と鎌倉幕府の関係が注目されてきた経緯があります。

江戸時代と深大寺

江戸時代には、両国回向院への像の出張である出開帳が明和2年(1765年)と文化13年(1816年)の2回行われており、深大寺が厄除け祈願の寺として江戸の人々にも知られていたことが分かります。

今回の御開帳は深大寺で行う居開帳です。調布市内で、日本史を肌で感じる事ができる絶好の機会です。

(産業振興課)

講演会

「なぜ日本一大きな肖像彫刻はつくられたのか」

日 5月16日(金)午後1時30分～4時20分(1時開場)
所 文化会館たづくり2階くすのきホール
定 申し込み順500人 費 無料
図 図直接または電話で郷土博物館 ☎042-481-7656

深大寺

第36回 なんじゃもんじゃ防災コンサート

深大寺境内のなんじゃもんじゃの木の下で、東京消防庁音楽隊による防災コンサートが開催されます。新緑の爽やかな深大寺で、なんじゃもんじゃの花とともに、間近で演奏を楽しみませんか。

日 4月24日(休)午後1時～2時頃 所 深大寺境内なんじゃもんじゃの木前
費 入場無料(席に限りあり。立ち見可)
他 雨天の場合、市立深大寺小学校の体育館で開催
図 深大寺 ☎042-486-5511



◀なんじゃもんじゃの木

▼過去のコンサートの様子



(産業振興課)

布多天神社

春の奉納 ピアノコンサート



春の暖かい気候のもと4日間にわたるピアノコンサートが開催されます。会場では、能登地域産の日本酒の提供もあります。

※初穂料は全額能登地方の被災神社へ直接送られます
期 4月26日(土)～29日(祝)
時 午前11時～午後3時
所 布多天神社 神楽殿
費 無料(日本酒は初穂料500円～)
他 4月28日(月)はストリートピアノ(要連絡)。詳細は布多天神社Instagram参照
図 布多天神社奉賛会 事業委員会
☎042-489-0022
(産業振興課)



布多天神社 Instagram



令和7年 文武一道が集う こどもの日 植樹祭

日 5月5日(祝)※小雨決行 所 布多天神社
図 緑化植樹祭、東大生による勉強相談会、アメフトとチアメイク体験、ダンス奉納
演 東京大学アメフト部、東京大学応援部、飛鳥ダンススクール
費 無料
他 詳細は飛鳥塾 ☎参照
図 飛鳥塾 ☎050-3551-7722 飛鳥塾HP



飛鳥塾HP



(スポーツ振興課)



J:COM (地デジ11ch) 「テレビ広報ちょうふ」

〔5日号〕 5日～19日 市政情報、ミニコーナーなど
〔20日号〕 20日～翌月4日 市政情報、特集など

放送内容は調布市公式 YouTube でも配信



Check